

二十九

48



丙

立案 昭和五年九月廿日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故從四位勳三等梅谷光貞位階追陞件

昭和五年九月廿八日裁可
臺帳記入九月二十九日官報報告濟

宮内省

裏面白紙





故從四位勳二等梅谷光貞位階

追陞ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十一年九月二十八日

内閣總理大臣廣田弘毅



内閣

第 號

案 起

昭和十一年九月二十八日

裁可昭和十一年九月二十八日施行
決定昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官



故從四位勳二等梅谷光貞ハ別紙内務拓
務兩大臣稟請ノ通功績顯著ナル者ニ候
處本月二十七日死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ
左ノ通位階追陞ノ件上奏相成然ルヘシ
故從四位勳二等梅谷光貞

特旨ヲ以テ位一級追陞セラル

從四位勳二等梅谷光貞

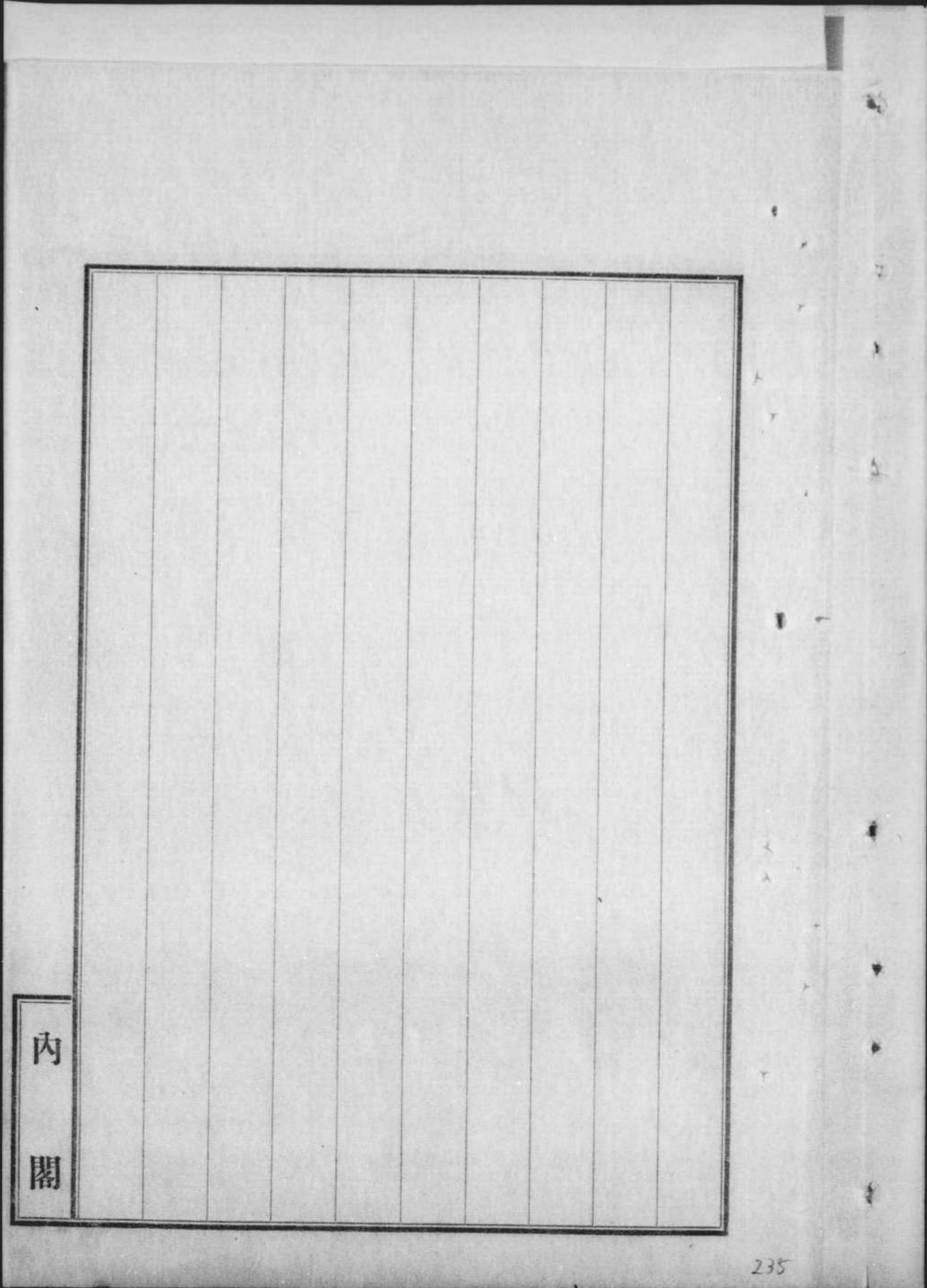
叙正四位

九月二十七日付

内務拓務兩大臣稟請

故從四位勳二等梅谷光貞
明治四十二年任官以來累進シテ新竹州
知事山梨、長野ノ縣知事ト爲リ大正十五
年退官ス在職十七年餘其ノ間地方行政
並ニ臺灣島治上ニ盡瘁ス次テ昭和二年
海外移住組合聯合會專務理事ト爲リ
地方移住組合ノ設立、統制、海外移住地、
設定、購入、指導、統率等創始時代ニ當リ

克シ事業ノ基礎ヲ定メ尚昭和七年關東
軍顧問タル陸軍省囑託（勅任待遇）トシテ
我滿洲移民ノ指導獎勵ニ盡力セリ



内閣

裏面白紙

235

裏面白紙

昭和十一年 九月二十八日

内閣書記官



宮内事務官

御中

通牒

別紙敍位ノ儀本日御裁可相成候旨出張
内閣書記官ヨリ通知有之候ニ付發表方
御取計相成度

追而本件ハ急ヲ要シ候ニ付至急御發令
相成度


内閣


拓位第五三八號

案起
昭和十一年九月三日

裁可
十一月九日
施行

年月日

内閣總理大臣


内閣書記官長


内閣書記官





故從四位勳二等梅谷光貞ハ別紙内務拓務兩大臣稟請ノ通功績顯著ナル者ニ候處本月二十七日死去ノ趣ニ付特ヒ日ヲ以テ左ノ通位階追陞ノ件上奏相成然ルヘシ

故從四位勳二等梅谷光貞

特_レ旨_ヲ以_テ位一級追陞セラル

從四位勳二等梅谷光貞

叙正四位

九月二十七日付

内閣
勅令第五二八号

官秘第三三九七號

昭和十一年九月廿八日

内務大臣 潮

惠之輔



拓務大臣 永田 秀次郎



内閣總理大臣 廣田 弘毅 殿

敍正四位

故從四位勳二等

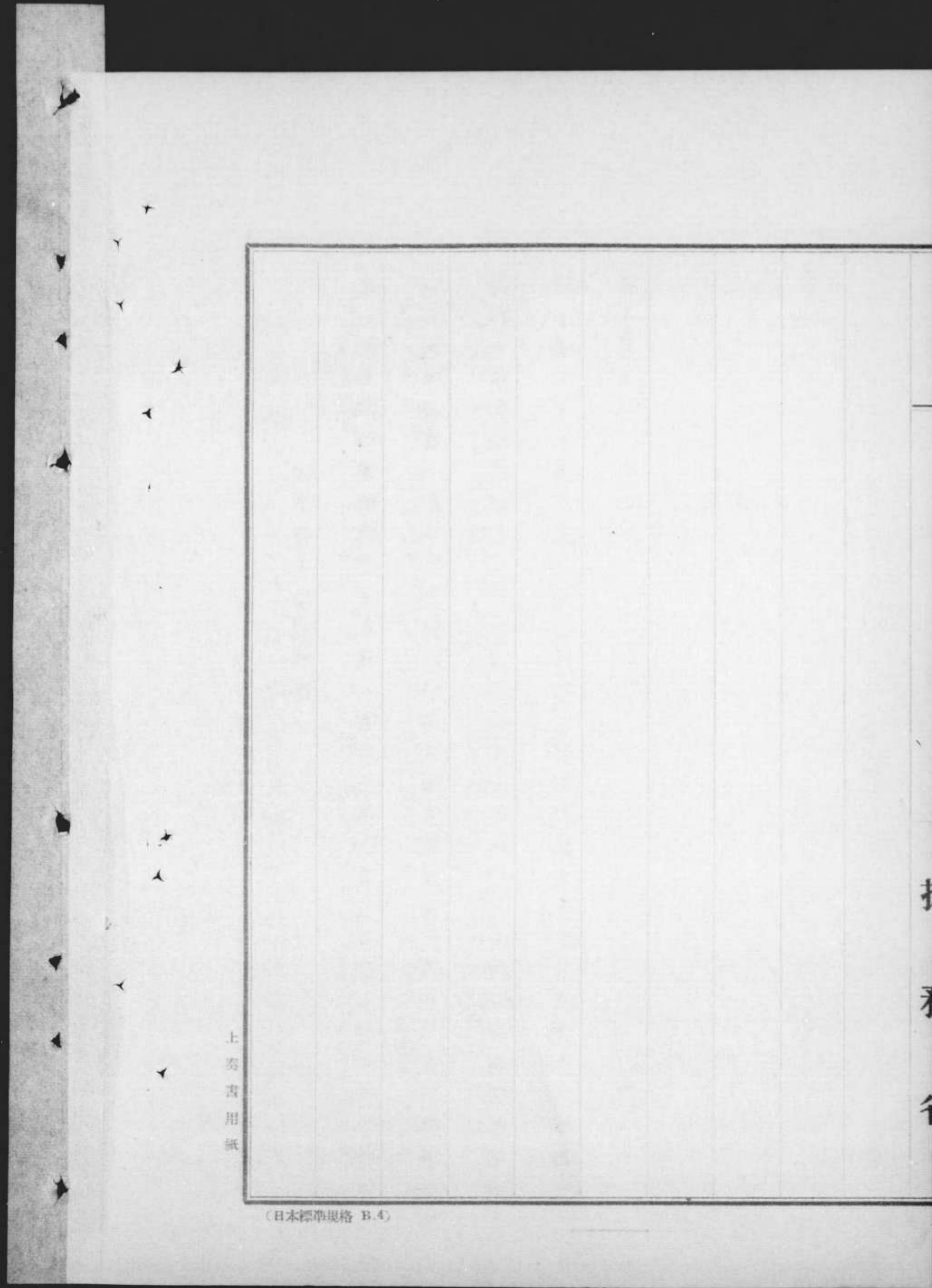
梅谷 光貞

右者東京帝國大學法科卒業後職ヲ内務省ニ奉ジ警視廳警視ヨリ三重縣理事官、
岩手、栃木各縣警務部長ヲ經テ大正五年六月臺灣總督府警視ニ轉ジ臺北廳長
ヲ經テ同十一年四月臺灣總督府參事官（二等）ヲ兼任爾來同新竹州知事、山
梨縣知事ヲ歷任シ同十三年六月長野縣知事ニ被任同十五年八月退官昭和二年
八月海外移住組合聯合會設立セラル、ヤ全會專務理事ニ選任セラレ九年二
月迄在職シタルモノナルガ全人ガ海外移住組合聯合會ノ創業期ニ在リテ奉充
克ク地方移住組合ノ設立、統制ニ盡力スルト共ニ再度二ケ年半ニ亘リ其ノ事
業地タル伯國ニ渡航シ苦心慘澹ノ結果廣大ナル移住可適地ノ設定嚮入及同地
ニ於ケル經營機關ノ設立並移住地ノ指導、統率等創始時代最モ困難ナルニ善
處シ事業ノ基礎ヲ定メタル外全七年以降陸軍省囑託、特務部移民部長トシテ

上 官 用 紙

（日本標準規格 B4）

吾重要國策タル滿洲移民ノ指導獎勵ニ盡力スル等一意吾國海外移住民事業ノ
普及、發達ニ貢獻シ又多年台地方行政並臺灣統治上盡瘁セル功績洵ニ顯者ナ
ルモノナル處今回病氣ノ爲本月二十七日午去致候ニ付テハ全人生前ノ功績ニ
鑑ミ特ニ頌書ノ通位階陞叙ノ御詮議相仰度功績調査等相添此段及稟請候也



上
奏
書
用
紙

(日本標準規格 B.4)

抄
本
行

裏面白紙

梅谷光貞功績調書

明治四十二年警視廳警部ト爲リ四十三年警視廳警視ニ任セラレ尋テ
三重縣理事官、岩手栃木兩縣警察部長ヲ經大正五年六月臺灣總督府
警視ニ轉任後大正十二年十月山梨縣知事ニ、同十三年六月長野縣知
事ニ任セラレ同十五年八月退官ニ至ル迄地方行政ニ盡瘁シタル功勞
尠カラス

事 蹟 調

梅 谷 光 貞

一、昭和二年八月一日海外移住組合聯合會ガ設立サルヤ全月六日専務理事ニ互選
サレ同日就任セリ

一、昭和二年十月事業對照地トシテ選定サレタル南米ブラジル國へ土地購入、移
住地ノ設定、入植計畫樹立ノ任務ヲ帶ビ渡航ス。創業日淺ク又伯國事情未ダ
詳カナラズ、幾多ノ難關アリシニモ拘ラズ克ク奔走シテ二十餘萬町歩ノ廣大
ナル移住可適地ヲ選定購入シ、「バストス」「チエテ」「ノーバ、アリアン
サ」「トレスバラス」ノ四移住地ヲ設定、引續キ土地測量、地區割ニ着手、
入植準備ヲ進ムルト共ニ將來ニ對スル入植計畫、自作農經營方法、渡航斡旋

方法、伯國出張所設置案等幾多必要事項ニ付キ調査研究ヲ遂ケ、昭和三年十月歸朝セリ

一、伯國ヨリ携行ノ諸調査事項ニ付キテハ關係諸官廳、理事會、總會ニ提示、既ニ檢討ヲ終リ、夫々具体案ノ確立ヲ見タレバ、之等計畫案ヲ實行ニ移スベク昭和四年二月再ヒブラジル國へ出張セリ

三月廿一日伯國着、同月廿五日聯合會代行機關トシテノ有限責任ブラジル拓植組合ヲ伯國法律ニ準據シテ設立シ、同組合ノ業務擔當組合員トナリ、四月一日之ガ業務ヲ開始シ、移住地開拓ノ事業ニ着手セリ

尙將來ヲ思フトキ土地未ダ充分ト云ヒ難キモノアルニ鑑ミ、本期間ニ於テモ移住地ノ物色ヲ續ケ、ミナス、ジエラエス州ト緊密ナル交渉ヲ遂ゲ、州有地

タイプライター用紙

(日本標準規格B4)

五萬二千ヘクタールレスノ無償讓渡ヲ受ケタリ

一、諸計畫ノ實行ニ一應ノ目鼻ツキタレバ、報告ノ爲メ昭和五年六月歸朝、爾後昭和六年二月廿五日専務理事ヲ辭任スル迄、地方各地へ伯國事情及移住地狀況紹介ノ講演ニ巡歴シ海外進出熱ノ振興ニ努メタリ

一、今同氏ノ事蹟ヲ見ルニ海外移住組合聯合會ノ副業期ニ専務理事トシテ就任シ内地ニ在リテハ田付理事長ヲ輔佐シ地方移住組合ノ設立ヲ勸説、組合ノ統制ニ盡力スルト共ニ事業地タル伯國ニ在リテハ移住地ノ設定、伯國ニ於ケル經營機關ノ設立並ニ移住地ノ統率等創業時代ノ難關ヲ突破シ事業基礎ヲ定メタルモノニシテ聯合會創業時代ノ最大ナル功勞者ノ一人トシテ傳フベキナリ

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

位勲爵	博士	府縣族籍	原籍	年	月	日	經	氏名	舊氏名	生年	月	日	歴	官衙其他
		兵庫縣平民	兵庫縣養父郡廣谷村字畑村	明治	九	九	東京帝國大學法科大學ニ入學	梅					官衙其他	
				四一	七		東京帝國大學卒業	谷						
				四二	一		文官高等試験合格	光						
				四二	一		任警視廳警部	貞						
				四三	一	三〇	任警視							
							敍高等官七等							
							補千住警察署長							
							官制改正							
四三				四三	一	三	補萬世橋警察署長							
四四				四四	二	〇	敍從七位							
							補方面監察							
							第八方面擔任ヲ命ス							
大正二				大正二	一	三	陞敍高等官六等							
							敍正七位							
							官制改正							
							任三重縣理事官							
							敍高等官六等							
							補視學官							
三				三	六	九	任岩手縣警察部長							
							敍高等官六等							
四				四	三	二	四	陞敍高等官五等						

拓務省

履歴書用紙甲

四二〇	敘從六位	宮 内 省
一、一〇	任栃木縣警察部長	
	敘高等官五等	内 閣
六一三	任臺灣總督府警視	
	敘高等官五等	
六	民政部警察本署保安課長ヲ命ス	臺灣總督府
六一二	陞敘高等官四等	内 閣
七一〇	敘正六位	宮 内 省
七三一	臺灣總督府警察官及司獄官練習所長事務取扱ヲ命ス	臺灣總督府
八三一	臺灣總督府警察官及司獄官練習所長事務取扱ヲ免ス	
	民政部警察本署警務課長ヲ命ス	
九一一	兼任臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官	内 閣
	敘高等官四等	
拓 務 省		
六一〇、一五	英領ボルネオ島蘭領東印度諸島海峽殖民地馬來半島	
	佛領印度支那へ出張被仰付	内 閣
	比律賓群島へ出張ヲ命ス	臺灣總督府
一三、一五	蘭領東印度諸島外五箇所へ出張ノ序ヲ以テ南支那へ出張ヲ命ス	
	任臺灣總督府警務官 兼臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官如故	
七 八、一	敘高等官四等	内 閣
	民政部警察本署警務課長ヲ命ス	臺灣總督府
八 一、一六	民政部警察本署長湯地幸平不在中代理ヲ命ス	
五二一	任臺北廳長	
	敘高等官四等	内 閣
八三〇	敘從五位	宮 内 省
七一二	陞敘高等官三等	内 閣

履歴書用紙乙

			九	八三	任臺灣總督府事務官	
			九一	任臺灣總督府事務官		
				紋高等官三等		
				土木局兼警務局勤務ヲ命ス		臺灣總督府
				歐米各國へ出張ヲ命ス		
				歐米各國へ出張ノ序ヲ以テアルゼリアへ出張ヲ命ス		
		一一	四一	兼任臺灣總督府參事官		
				紋高等官二等		内閣
			五一〇	紋正五位		宮内省
			五一五	任新竹州知事		
				紋高等官二等		内閣
			一一三〇	紋勳五等授瑞寶章		賞勳局
		一二	七二四	紋勳四等授瑞寶章		
拓務省						
		一二	一〇二五	任山梨縣知事		
				紋高等官二等		内閣
		一三	六二四	任長野縣知事		
				紋高等官二等		
				陞紋高等官一等		
		一四	四二七	紋從四位		宮内省
			六一	紋勳三等授瑞寶章		賞勳局
			一一三〇	二級俸下賜		内務省
		一五	八五	依願免本官		内閣
昭和二	八六			海外移住組合聯合會理事ニ選任サレ全日全會事務理		
				事ニ互選サレ全日就任ス		
	一〇一五			南米各國へ出張ヲ命ゼラル		
	一三一〇			ブラジル合衆共和國へ到着		

履歴書用紙乙

三	八一〇	ブラジル合衆共和国出發	
	一〇一一	歸朝	
四	三二二	ブラジル合衆共和国駐在ヲ命ゼラル	
		東京出發シベリヤ經由ブラジル合衆國へ向ケ出發	
	三二一	ブラジル合衆國へ到着	
	三二五	有限責任ブラジル拓植組合設立ト同時ニ業務擔當組 合員ニ就任ス	
五	六九	歸朝	
六	三二五	海外移住組合聯合會專務理事及有限責任ブラジル拓 植組合業務擔當組合員ヲ辭任ス	
		海外移住組合聯合會理事ニ再選サレ全日就任ス	
	三二八	海外移住組合聯合會臨時事務ヲ囑託サル	
七	四二	陸軍省事務囑託（特務部移民部長）	陸軍省
拓務省			
九	三二五	海外移住組合聯合會理事ヲ辭任ス	
	四二九	敘勅二等授瑞寶章（昭和六年乃至九年事變ノ功ニ依 リ）	賞勳局
一〇	三二八	陸軍省事務囑託ヲ解ク	陸軍省

履歴書用紙乙

立案 昭和十一年九月廿八日
決裁 昭和十一年九月廿八日

賞格高等官

案

故從四位勳二等梅谷光貞
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル
從四位勳二等梅谷光貞
叙正四位
昭和十一年九月廿七日

宮内省

右之通本旨 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十一年九月廿八日

宗秩寮總裁

内務大臣宛



一七五

一 茲 任 四位 左 衛 門 督 梅 岩 光 貞

右位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和 十 年 十 月 十 五 日

宗 秩 高 總 裁 候 對 本 戶 室

中 務 大 臣

(備 原 納)

宮 内 省

裏 面 白 紙